



兵庫教育大学の FD活動

本学のビジョンはその2番目に、「質の高い教育内容と充実した学習環境を提供して、学生一人ひとりがその可能性を最大限に伸ばし、高い達成感と満足感を得られる大学となります」と明記しています。学生各自に最大限の可能性伸長と高い達成感、満足感を得させるために、学習環境の充実とともに教育内容の質を高めることを大学づくりの方向性として宣言しているわけです。教育内容の質を高めるためには、大学教員の授業力向上が欠かせません。授業力向上には、教員それぞれが改善努力を不断に行うことが基本ですが、各教員の改善努力を促し、支援するためにも、大学としての組織的な研修、つまりファカルティ・デベロップメント(FD)が必要です。

本学はこれまでに学部、修士課程のすべての授業科目(実習科目を除く)について学生による授業評価を実施し、ホームページで公表しています。教員相互の授業参観も行っています。教職大学院のFDでは、学生による授業評価と授業公開にとどまらず、学生への評価結果と改善策の説明、それを受けての学生からの意見聴取、実習校による実習評価、外部者を含めた公開研究授業、外部評価委員会による第三者評価など、多様な活動が計画的に行われており、他大学と比較してもかなり進んだ取組といえます。

こうしたFD活動のねらいは、改めていうまでもなく、個々の教員の授業力向上による大学全体の教育力の向上です。教員個々の力を上げ、全体の力を上げるためには、教員集団の協働性と同僚性を高めることが必要です。学生の成長と満足度を高めることを最優先の価値観として共有し、教員個人やコース・分野の独善性を排し、各人の個性や創意工夫を尊重して謙虚に学び合い、支援し合うことによって、教育活動の改善と課題解決に努めるような文化を醸成することです。

上記のビジョン実現のために、これまでは学習環境の整備を重点事項にして、構内の美化やラーニングコモンスの設置などに取り組んできました。それはとりあえず一段落しましたので、今年度からは「FD活動の活性化」を重点事項としました。学生と教員の双方向型の授業(アクティブ・ラーニング)の一層の推進、学生とともにいき、学生の省察や成長も促すようなFD活動、より確実に授業評価結果が次の改善につながる評価システムの開発、教員養成スタンダードの更なる実質化など、これまでとは一線を画す取組を試みたいと考えています。こうした取組が進めば、教員間の協働性・同僚性は自ずと向上することでしょう。

かじさてつや
学長 加治佐哲也